

平成 30 年度 介護報酬改定に向けて リハマネジメント研修会

～ リハマネ加算 II やリハ会議は、どう実践するか？ ～

～ 本研修会の狙い ～

充実したリハマネジメントが求められている！

平成 27 年度介護報酬改定において、多職種での目標共有・協働を計画的に実施することを目的に、リハビリテーションマネジメント加算が見直されました。一方で、平成 30 年度介護報酬改定に向けた議論が行われている社会保障審議会介護給付費分科会¹⁾の資料によると、リハマネジメント加算 II を算定した事業所は全国の 37.7%と、リハマネジメント加算 I と比較して低い値でした。

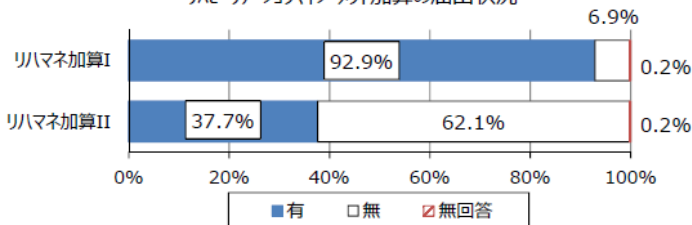
算定していない理由としては、「医師のリハ会への参加が困難」・「医師からの説明時間が確保できない」・「毎月リハ会議が負担である」の割合が高い値を示しており、生活行為向上リハ実施加算や認知症短期集中リハ実施加算 II の算定が困難な要因ともなっています。また、同審議会では、通所リハビリテーションと通所介護の役割分担と機能強化について議論の論点に挙げており、平成 30 年度介護報酬改定では通所リハにおけるリハマネジメントの充実がポイントになりそうです。

リハビリテーションマネジメント加算の届出等の状況

通所リハにおいて、リハビリテーションマネジメント加算 I を届け出ている割合は 92.9%、同 II は 37.7%であった。

リハビリテーションマネジメント加算 II の加算を算定しない理由は、「医師のリハ会議への参加が困難」が 56.2%、「医師からの説明時間が確保できない」が 49.6%、「毎月のリハ会議が負担である」が 52.4%であった。

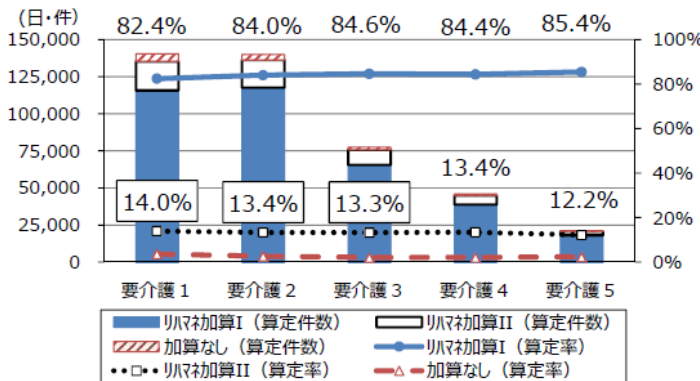
リハビリテーションマネジメント加算の届出状況



(出典)平成27年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成27年度調査)

リハビリテーションマネジメント加算 I の算定率は要介護度によらず約 84%、同加算 II の算定率は要介護度によらず約 13%であった。

要介護度別に見たリハビリテーションマネジメント加算の算定状況 (2017年2月分)



(出典)厚生労働省「介護給付費等実態調査」(平成29年2月分)

リハビリテーションマネジメント加算 II の届出の有無別リハビリテーションマネジメント加算 II を算定していない利用者がいる理由(2016年10月分)(複数回答)

	合計	医師のリハ会議への参加が困難	医師からの説明時間が確保できない	毎月のリハ会議が負担である	本人・家族が意義・必要性を理解できない	利用者の経済的な負担が大きくなる	支給限度額の上限を超えてしまう	介護支援専門員の理解が得られない	その他	無回答
全体	452 100 %	254 56.2 %	224 49.6 %	237 52.4 %	144 31.9 %	196 43.4 %	137 30.3 %	78 17.3 %	51 11.3 %	8 1.8 %
有	154 100 %	57 37.0 %	41 26.6 %	71 46.1 %	71 46.1 %	87 56.5 %	68 44.2 %	45 29.2 %	23 14.9 %	3 1.9 %
無	291 100 %	191 65.6 %	177 60.8 %	162 55.7 %	71 24.4 %	107 36.8 %	66 22.7 %	33 11.3 %	28 9.6 %	5 1.7 %

注) 表中にはリハビリテーション加算 II の届出の有無について無回答の場合の記載を省略した。

(出典)平成27年度介護報酬改定の効果検証及び調査研究に係る調査(平成28年度調査)

1) 第 141 回 社会保障審議会介護給付費分科会 資料より: <http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000168709.html>

【本研修会の内容】

時 間	内 容
09 : 00 - 09 : 30	受 付
09 : 30 - 10 : 50	<p>講義① :</p> <p>30 年度改定に向けて通所リハに求められる機能とはなにか？</p> <p>～ リハマネジメントを中心に ～</p> <p>[講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡野 英樹：(一社) 全国デイ・ケア協会 理事 リハビリテーション医療関連団体協議会 報酬対策委員会 委員 <p>[内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> 審議会の動向から読み解く、通所リハにおける課題と対策。 リハマネジメント加算Ⅱの算定に必要な具体的な対策。(Q&Aの解釈) リハ会議の開催、家族への説明に向けて医師の関わりをどのように工夫するのか。
11 : 00 - 12 : 00	<p>グループワーク① :</p> <p>リハマネジメントにおける事業所の課題</p> <p>参加者同士での情報交換や講師陣からのアドバイスから、自事業所の課題を振り返ります。</p>
12 : 00 - 13 : 00	昼食休憩
13 : 00 - 14 : 00	<p>実践報告① :</p> <p>リハマネジメントの効果的な実践と連携の工夫</p> <p>[講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> 澤潟 昌樹：在宅総合ケアセンター元浅草 竹重 雄太：医療法人真正会 霞ヶ関南病院 デイホスピタル <p>[内容] リハマネジメント加算Ⅱの算定に関する具体的な実践方法とその工夫など。</p>
14 : 10 - 15 : 10	<p>実践報告② :</p> <p>リハビリテーション会議の効率的な実践とその工夫</p> <p>[講師]</p> <ul style="list-style-type: none"> 澤潟 昌樹：在宅総合ケアセンター元浅草 竹重 雄太：医療法人真正会 霞ヶ関南病院 デイホスピタル <p>[内容] リハビリテーション会議の効率的かつ効果的な実践方法など。</p>
15 : 20 - 16 : 20	<p>グループワーク② :</p> <p>リハマネジメントにおける課題への具体的な対策の検討</p> <p>参加者同士での討議や講師陣からのアドバイスから、各事業所の課題に対する明日からできる具体的な対策を検討していきます。</p>
16 : 20 - 16 : 30	閉会挨拶

※ 本研修会は、昨年度実施した「生活行為向上リハ フォローアップセミナー」から「リハマネジメント」に特化した内容です。

【開催概要】

【日時】平成29年9月15日（金）9:30～16:30（9:00受付開始）

【会場】東京ビックサイト 会議室
〒135 0063 東京都江東区有明3丁目11-1

【対象】通所リハビリテーションに従事する方

【定員】会場60名（先着順）

【対象】通所リハビリテーションに従事する全職種

【受講料】 全国デイ・ケア協会 認定管理者	4,000円（資料代・消費税込み）
全国デイ・ケア協会 会員	6,000円（資料代・消費税込み）
全国デイ・ケア協会 非会員	11,000円（資料代・消費税込み）

*リハビリプログラム研修会と併せてお申し込みされた方は、セット割引（1,000円）があります。
*ご連絡が無く欠席された場合には受講料のご返金は出来ません。

【受講ポイント】

- ・全国デイ・ケア協会：認定管理者制度 2ポイント
- ・日本理学療法士協会：専門・認定理学療法士（生活環境支援） 5ポイント
- ・日本作業療法士協会：生涯教育制度 基礎ポイント（詳細は各都道府県士会へお問い合わせください）

【申込方法】

- ① 右記入カフォームより必要事項をご入力ください。
（または、協会HPよりお申し込みください）
- ② 入力後、仮受付メールを返信します。
メールが届かない場合には、お問い合わせください。
※ 携帯メール(@docomo.ne.jp等)へは、配信できない可能性がございます。
- ③ 仮受付メール配信後、1週間以内に受講番号を返信します（受講確認メール）。
受講費のお振込に関しては、受講確認メールをご確認ください。

[お申込み入力フォーム](#)



【申込期日】：平成29年9月13日（水）

【お問い合わせ先】 E-mail:kenshu@day-care.jp

【昼食・宿泊】 お手数ですが各自にてお願いいたします。

【参加者の声】

自分たちの施設で取り組んでいること、
今後の方針などが、この研修会で
再認識することができた。
また、研修会へも参加したい！

他の施設のことや、取り組み内容が
わかり、とても参考になった。
早速、現場でも活かしていきたい。

